

アカシア探検隊

「セレッソ大阪首脳を直撃！」

48回卒 鬼武健二氏

大阪サッカークラブ株式会社
代表取締役会長

甲：おい。こんだあ大阪行くで。

乙：お、ユニバーサルスタジオで
すか？

甲：お前は子供か！セレッソ大阪
の鬼武健二先輩のところじゃ。

乙：セレッソ大阪と言えば、元は
ヤンマーサッカー部ですね。

甲：あ、釜本やらネルソン吉村な
んかがいた。現役でいえば広
島出身の森島や、売り出し中
の大久保もセレッソですよ。

乙：おー。よー知つとるじゃん。

甲：ヤン坊マー坊天気予報で育つ
た世代ですから。ところでヤ
ン坊とマー坊はどっちが年上
で、それぞれ何歳か知つてま
す？

乙：そんなん知るか！

甲：それからヤン坊マー坊天気予
報の歌詞ってテレビでは途中
を端折つとるつちゅう噂もあ
るんですよ。

乙：そんな事聞きにわざわざ大阪
へ行くんじゃないんで！

甲：ということで、今回は48回卒業
の鬼武健二氏の登壇です。

鬼武健二氏は昭和37年、早稲田
大学卒業後、ヤンマーディーゼル
株式会社に入社され、選手として
6年間、第三代の監督として11年
間ヤンマーサッカーを支えてこら
れました。監督時代は世界の釜本
らを率いて日本リーグ優勝3回、
天皇杯優勝3回を成し遂げられま
した。又監督として93勝は今も日
本サッカー界に燦然と輝く金字塔
となつています。

監督の座を釜本氏に譲られた後
は社業に専念され、マリリンレ
ジャー営業部長、株式会社ヤン
マーマリナックス取締役社
長を歴任されました。しか
しJリーグ発足に伴いサッ
カープロ化推進室長に就任。
平成5年12月に大阪サッ
カークラブ株式会社 代表
取締役社長、平成12年2月
に同、代表取締役会長に。
現在も日本サッカー発展の
為に活躍されています。



甲：本日はお忙しいところ、
わざわざお時間を頂き有難
うございます。

鬼：いやあ、広島から良く
来てくれたね。初対面だけ
ど懐かしい感じじゃね。

乙：早速で申し訳ないのですが、
ヤンマーディーゼルに入社された
きっかけは、やはりアカシア会に
関係あると聞いておられますが？

鬼：ええ。39回卒の古川竜章さん
に誘われました。古川先輩と言え
ば昭和22年の全国大会、国体の2
冠の時のハーフバックでね。その
時のメンバーにはあの長沼健さん
(39回) もいらつしました。

古川さんはそもそもヤンマーサッ
カー部の産みの親なんですよ。昭
和32年に古川さんを中心に社員に
声をかけてヤンマーサッカー部は
誕生したんです。発足時は14名の
スタートだったそうです。私の入
社当時は主将を務められていまし
たが、チームの強化の為に一生懸
命に頑張つておられました。

4年時に、特急「安芸」に乗つて
帰省しようとした時、東京駅に
あつたヤンマーディーゼルの看板
を初めて見て「何を作つとるんか
なあ？」つて思ったぐらいじゃか
ら。それにサッカーで生きていこ
うとはあんまり思つてなかつたし。
でも古川さんに熱心に誘われてね。
とにかく「チームを強くしたい！」
と言う気持ちが直に伝わつて来た
わけよ。つまり、「これから絶対
強くなるチームだ！」と確信して、
「それならワシが入つて強うした
ろう！」と。それに大阪は東京に
比べたら広島に近いしね。古川さ
んの「大阪もエエとこでえ。」の
一言が決定打。

甲：で、実際入社されてみてどん
な感じでしたか？

鬼：いや、まあなんというか。草
サッカーもエエとこでね。練習も
仕事をきつちり終えてから。ナイ
ター設備なんか当然無いからヤン
マーの電光看板の下でやつてまし
た。でもみんな前向きでね。喧嘩
腰というか、ひたむきにやつてま
したよ。そのおかげか、着実にチー
ムは強くなって行きました。会社
もバックアップしてくれたし。でも
古川さんは厳しかつたね。休み
を利用して遠征する訳だけど、次
の月曜日は絶対休めない。「居ねむ
りしとつてもエエから会社に行
け！」つて尻を叩かれましたよ。

乙：早稲田の先輩でもあるし、す
んなり決断された訳ですね。

鬼：うーんそーねえ「草サッカー
から日本一まで全部味わつた」つ
て感じじゃね。まさに最底辺から
頂点まで行つたわけだから。それ
からアカシア関係で言えば、日本
リーグが始まつた最初の年に悔し
い思いをしたねえ。最終節に母校
のグラウンドで東洋工業と対戦した
んだけど、11-0で負けてねえ。
ウチは監督が古川さん、私がFW
でアカシア、相手は桑田隆幸(50
回) 君に小城得達(51回) 君がア
カシア、この二人に5点と4点と
られたよ。恥ずかしかつたと言
うか、悔しかつたと言うか。でも
古川さん曰く「負けてもいい。も
まれてもまれて強くなるんじや。」



